

かいせい No17

農業委員会だより



平成 30 年 3 月 発行
 編集・発行
 開成町農業委員会
 (0465) -84-0317
 広報委員
 松下 彰 (宮台)
 加藤誠一 (金井島)
 小野博文 (中家村)

平成 29 年度の 活動について

① 農業委員会総会

今年度は、月例で総会を 11 回開催（案件なしのため不開催 1 回）しました。

【総会での審議事項等】

- 農地の「効率的な利用」「優良農地確保」を図るために農地の転用や所有権を移転する場合の農地法第 3 条、第 4 条、第 5 条による「許可申請」「届出」に関わる審議
 - 相続税の納税猶予に関わる適格者資格などについての審議
 - 農業経営基盤強化促進法の利用権に関わる町長からの諮問についての審議
 - その他主催行事・共催行事などの調整
 - 前任の農業委員が作成した「農業委員基礎知識」の改訂作業
 - 農業振興に係る委員研修
- 各地区担当の農業委員は、総会前に対象農地の現地確認等を行ってまいります。

平成 29 年度審議実績（議案・報告等）

審議事項	可決・承認等の件数	備考
(1) 農地法 3 条許可（農地のまま所有権移転）	6 件	うち取下 3 件
(2) 農地法 4 条許可（市街化調整区域の農地を所有者が転用）	1 件	
(3) 農地法 4 条届出（市街化区域の農地を所有者が転用）	4 件	
(4) 農地法 5 条許可（市街化調整区域の農地を譲受人が転用）	2 件	一時転用 2 件
(5) 農地法 5 条届出（市街化区域の農地を譲受人が転用）	1 5 件	
(6) 納税猶予適格者証明（農地の納税猶予制度の適否）	3 件	
(7) 利用権設定（市街化調整区域の農地の貸借）	1 2 件	1 7 筆
(8) その他（非農地証明、農業振興地域整備計画など）	1 2 件	

※(2)・(4)は県の許可のため、農業委員会は意見を付すのみ

② 農地パトロール

町内全域の農地を対象に、6 月から 7 月にかけて各地区の農業委員が予備調査を実施し、8 月 22 日に一斉パトロールを実施しました。パトロールの結果、草が茂るなどして近くの農地に影響がある場合は、所有者への改善の依頼及び指導を行い、耕作放棄地の減少や発生抑制に取り組みました。



③ 農地の斡旋

何らかの理由で耕作できないなど農地に関する事柄は、借り手を探すなど農業委員会が仲介し斡旋を行っています。

④ 人・農地プランを推進

平成26年度に町が策定した「人・農地プラン」を推進し、昨年度農業委員会で制定した農家資格の認定制度によって農家となった方々が、新たに担い手として登録されましたので、これらの方々に対し積極的な農地の利用集積を進めています。

⑤ 各種研修会および大会の参加

- ・8月31日【南足柄】
足柄地区農業委員会連合会研修会
- ・10月10日【小田原】
農地中間管理機構に関する研修会
- ・11月9日【海老名】
神奈川県農業委員大会

⑥ 米栽培体験学習塾

《1》 田植え・手巻寿司体験

5月29日、金井島の米栽培体験学習塾で、小学生を持つ親子を対象に田植え体験を実施し、横浜市・川崎市・静岡県沼津市などから28家族1団体の84人の参加がありました。当日は天候に恵まれ、参加者は2つの班に分かれ、一斉に苗を植えていきました。おおよそ、一時間半で田植えが終了し、あじさい公園で行われる開成町婦人会主催のロング手巻寿司作りに参加しました。



《2》 稲刈り体験

10月1日、5月に田植えした学習田の稲穂が黄金色になり頭を垂れたところで、田植えに参加した親子を対象に稲刈り体験を実施し、19家族1団体の79人の参加がありました。小さな子どもも汗をかいて鎌で稲株を一束ずつ丁寧に刈って集め、コンバインに運んでいました。稲刈り終了後は、開成町産さつまいもの焼いもを口いっぱいにはおぼっていました。

⑦ 町行事・会議

あじさいの里親であることから、あじさいの里の剪定作業を行っています。その他にも町の認定新規就農者の審査会をはじめとする農業に関する会議に出席しました。

⑧ 町の各種委員会

- あじさい祭り実行委員会
- 開成町都市計画審議会
- あしがら郷拠点整備検討会
- 開成町ブランド認定審査委員会

⑨ 農業委員会

各種委員

- 和解仲介委員
- 広報委員
- 開成町有害鳥獣対策協議会 等

私たちの農業委員としての任期は、残すところ1年となりました。農業委員会法改正による新しい仕組みでの船出でしたが、諸先輩から受け継いだ農業委員会をより良いものにするため今後も全力を尽くしてまいります。

農業委員会会長 府川 健治

2年間の主な活動実績

- ・中間管理事業等を活用し、耕作放棄地を7,887㎡減
- ・農家資格認定制度を設け、新規就農者2人が「人・農地プラン」の担い手に成長